

服薬状況が気になる患者さん・利用者さんは いらっしゃいませんか？ 薬局薬剤師にご相談下さい。

訪問看護師、介護支援専門員、ヘルパー等（多職種の方さま）

服薬状況が気になる患者さん・
利用者さんがいらっしゃる場合

* 患者さんご本人やご家族からの
相談の場合も



患者（利用者）の同意の有無を確認
したうえで、**薬局薬剤師へ情報提供**

薬局への連携ツールの一つとして、
「薬局へのお薬相談書」（様式A）を
ご活用ください。

なお、様式Aの使用
の有無は問いません。
お電話でもかまいます
ので、お気軽にご相談
下さい。

高知県薬剤師会
ホームページから
ダウンロードできます。

A 薬局へのお薬相談書

【目的】
1. 薬局にある薬品を適切に利用し、患者さんの服薬状況を把握し、適切な服薬指導を行うこと。
2. 薬局への連携ツールの一つとして、患者さんやご家族からの相談に対応すること。
3. 薬局へのお薬相談書の活用により、患者さんの服薬状況を把握し、適切な服薬指導を行うこと。

患者さんご本人やご家族からの相談の場合も

イメージ

内容が多く記載できていないので、見直しをお願いします。

※ 薬局へのお薬相談書は、薬局へのお薬相談書（様式A）として活用してください。

※ 薬局へのお薬相談書は、薬局へのお薬相談書（様式A）として活用してください。

※ 薬局へのお薬相談書は、薬局へのお薬相談書（様式A）として活用してください。

情報共有

薬局

かかりつけ医・歯科医

- ・処方医との情報共有（照会等）
- ・情報提供者への状況聞き取り
- ・状況に応じて患者宅へ訪問
（医師の訪問指示の有無によらない）
- ・適正な服薬ができていない理由別の
対応
- ・おくすりバッグを活用した
残薬整理、重複投薬対応

▶ 対応結果は情報提供者
（多職種）、処方医へ報告

<目的>

医療・介護関係者が連携して、高
齢者等の在宅での服薬状況を改
善することにより、薬物治療の効
果を高める。

本事業を通して

- ①多職種と薬局・薬剤師の連携
を強化してまいります。
- ②安心して在宅医療（療養）が
できる環境を整備してまいります。